



事業内容

米(酒米・うるち米)の生産
日本酒の製造・販売
おもちの製造・販売

主な作物

○酒米
○もち米



こだわりPoint

スマート農業を実践し、中山間地の耕地面積を増やして、地域の活性化に取り組んでいます。



自社のライスセンター



AIを搭載したコンバインで作業

スタッフ Interview

梶村 拓哉さん(25歳・写真左)

自分を見つめなおしたとき、農業がしたいと思い、エンジニアから転職して2019年4月入社しました。実証プロジェクトでは最新の農機具を使うことができ、スマート農業をいち早く体験できています。大学ではコンピューターの勉強をしたので、この知識を農業にも活かしていきたい。

三方 陽平さん(40歳・写真右)

リターンして2020年8月に入社しました。前職は介護職で、外で体を動かす仕事に憧れていました。会社では大きな機械を操縦することができて、楽しいし、良い経験になります。実家は兼業農家ですが、独立するのではなく、ここで学んでいきたい。定年後は実家で農業します。

スマート農業で地域の活性化 実証プロジェクトの一員として参加

中山間部水田作地域でのスマート農業の実証をテーマに、養父市・京都大学・ソフトバンクなどで作る共同体の一員として、2019年から農林水産省のスマート農業実証プロジェクトに参加している「Amnak」。食味や収量を稲刈りしながら測定できるコンバインなど、AIを搭載した農機具を導入することで、効率化・コスト削減を目指します。代表取締役・藤田彰さんは地域の活性化に注力。栽培する酒米「五百万石」などを地元の酒蔵に委託して、自社ブランドの日本酒「但馬ほまれ」「能座ほまれ」を醸造。オール但馬の日本酒として海外にも輸出しています。

トップ Message

持続可能な中山間農業の企業モデルを構築

代表取締役

藤田 彰さん

生産から収穫、精米まで一元管理するため、2017年ライスセンターを整備しました。スマート農業実証の取り組みは、働く人のモチベーションを上げています。ICT、AIを駆使した機械化により、収益を上げる仕組みを作りたい。持続可能な中山間農業を実践し、耕作面積を広げて地域の活性化に役立ってほしいと、期待されている会社です。



所在地

〒667-0143
養父市能座100

TEL/FAX
HP

TEL.079-666-0227 FAX.079-661-9030
<http://www.amnak.co.jp/>

設立

2015年10月

資本金/売上高

3000万円/2280万円

従業員数

社員3人、季節雇用10人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1.5日のシフト制。
年間休日84日。
休憩室あり

インターンシップ

随時受付



企業ホームページ